

経営比較分析表（令和5年度決算）

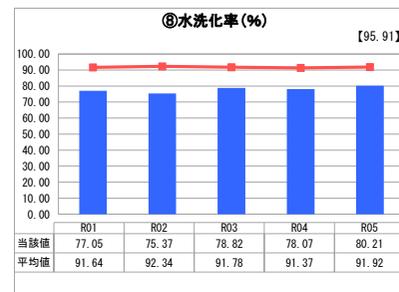
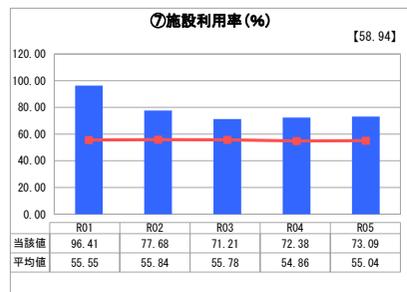
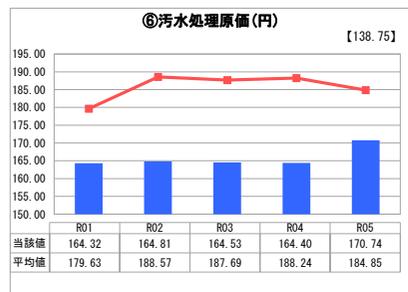
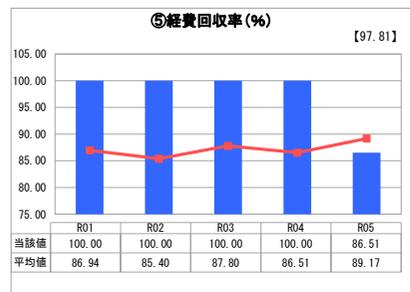
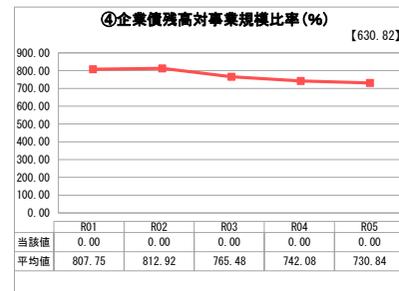
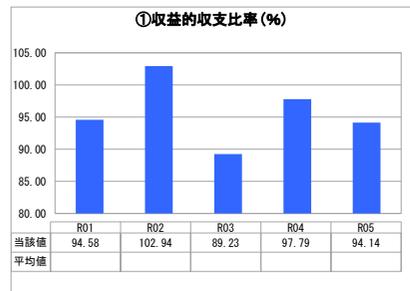
栃木県 益子町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	22.14	65.79	2,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
21,616	89.40	241.79
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,754	2.57	1,849.81

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
R5年度含め全体的には100%を割り込んでいて単年度収支は赤字であり、一般会計からの繰入金に依存した経営となっている。引き続き経費削減、水洗化率を向上し、使用料の収入増を図っていく必要がある。

④企業債残高対事業規模比率
以前から0%であるが、整備面積の拡大や処理場施設の増設など投資事業を実施しているため、地方債の借入は増えている。

⑤経費回収率
公営企業会計移行に伴い、切り替わりとなったため、例年と比べると低い数値となった。今後も健全な経営のため、更なる経費削減や財源確保を図る。

⑥汚水処理原価
類似団体と比較すると低い数値となっている。今後も有収水量の向上など経営改善の努力をしていく。

⑦施設利用率
管路の不明水が多かったため、R1年度から継続的に不明水対策を講じている。

⑧水洗化率
類似団体と比較すると低い状況である。安定した維持管理等を行う貴重な財源確保のために、今後も水洗化の促進を図る必要がある。

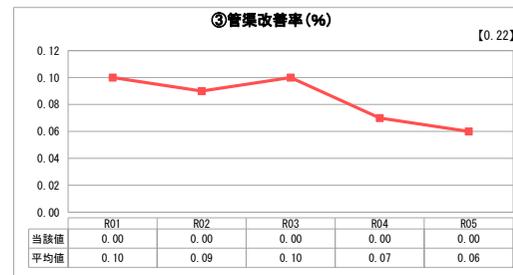
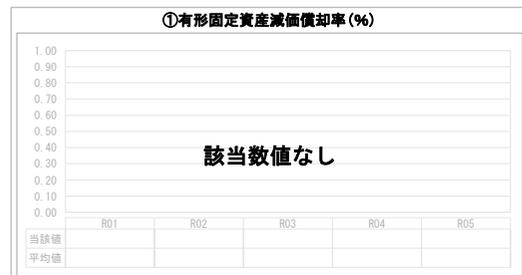
2. 老朽化の状況について

供用開始後30年以上経過しており、施設の老朽化が進行しているため、H30年度に策定したストックマネジメント計画に沿って、計画的に処理場施設や管路施設の点検調査を実施し、修繕や更新に努めていく。

全体総括

経営の健全性・効率性の項目によっては、類似団体の平均値よりも数値が上回るなど評価できる面もあるが、収益的収支比率は、R3～5年度と100%を割り込んでいて単年度で赤字となっている。また、水洗化率も平均値を下回っている状況である。今後も経費削減や収入増など経営改善の努力を継続していく必要がある。

2. 老朽化の状況



※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。